

# 初年次教育担当の教員をめぐる チームビルディングについて

京極 重智・深川 幹



ラニモリちゃん

# 1. 初年次教育「まなぶる▶ときわびと」について

## 学科を超えてチームで学ぶ、初年次教育

### 〈まなぶる▶ときわびと〉

職業教育だけにかたよらず、生涯を通じて「チームで学ぶ力」を身につけるために導入しているのが、本学オリジナルの科目「まなぶる▶ときわびと」。初年次教育学会の「2021年度教育実践賞」の優秀賞にも選ばれています。この科目は「学びの始め 科目群」の1つで、授業は5学科合同で行います。他学科の学生とチームをつくり、コミュニケーションやプレゼンテーション、ディベートなどに取り組みます。その中で、レポートの書き方や数的処理能力、計画的学習など、大学生として必要な考え方や学び方が身につきます。



### 仲間とともに学ぶ Team Based Learning

コミュニケーションやディベートを通し、自己理解・他者理解を深める中で、チームが活性化します。また他学科の学生と接することで多様な価値観に触れ、視野を広げることができます。

チームをつくる  
チームビルディング

読む力・書く力・伝える力  
ロジカルコミュニケーション

計画的学習・振り返り  
メタ認知

教え合い・学び合い  
協働学修

チームで学ぶ  
ときわびと

学ぶ  
+  
able

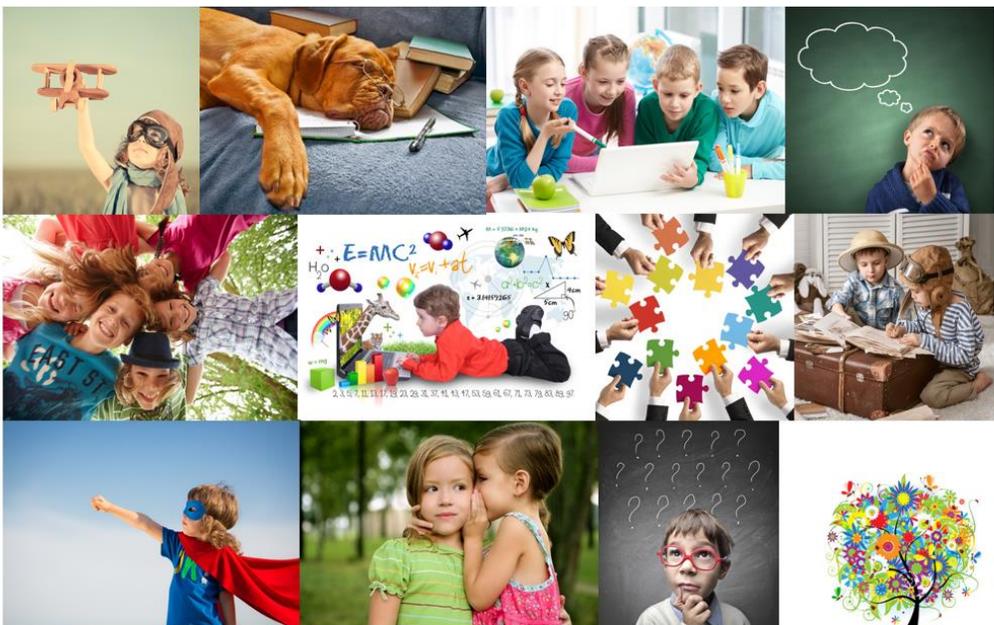


Team LaNiMoRi

# 2. まなぶるのコンテンツ作成

## まなぶる▶ときわびと I ◀ ファシリテーションシナリオ◀

Updated 2024.05.07◀



各コンテンツの手引きとなるファシリテーションシナリオ

年度ごとに改善を行ってきたコンテンツ

### 令和4年度◻まなぶる▶ときわびと I ◻学修内容一覧◀

学修内容(大項目)◀	開講週◀	学修内容(中項目)◀	学修内容(小項目)◀
チーム・ビルディング◀	1, 2◀ 4, 7◀	協働する基盤を組み立てる◀	Organization Development◀
ロジカル・ コミュニケーション◀	3, 5, 6◀	書くちからを養う(遠隔授業)◀	ライティング I ~ III◀
	8◀	読むちからを養う◀	話し合いによる学修◀
	9◀	論理的・批判的に考える◀	ロジカルシンキング◀ クリティカルシンキング◀
	10◀	視覚的に考える◀	ビジュアルシンキング◀
	11, 12◀	論理的な議論を実践する◀	アカデミックディベート I, II◀
	13, 14◀	「伝える」を実践する◀	プレゼンテーション I, II◀
まとめ◀	15◀	振り返り◀	学びの集大成◀

### 令和5年度◻まなぶる▶ときわびと I ◻学修内容一覧(案)◀

学修内容(大項目)◀	開講週◀	学修内容(中項目)◀	学修内容(小項目)◀
チーム・ビルディング◀	1, 2◀ 4, 7◀	協働する基盤を組み立てる◀	Organization Development◀
ロジカル・ コミュニケーション◀	3, 5, 6◀	書くちからを養う(遠隔授業)◀	ライティング I ~ III◀
	8◀	読むちからを養う◀	話し合いによる学修◀
	9◀	論理的・批判的・視覚的に考 える◀	ロジカルシンキング◀ クリティカルシンキング◀ ビジュアルシンキング◀
	10, 11◀	論理的な議論を実践する◀	即興型ディベート I, II◀
	12, 13, 14◀	「伝える」を実践する◀	プレゼンテーション I ~ III◀
まとめ◀	15◀	振り返り◀	学びの集大成◀



# 3. これまでのコンテンツチーム

## 初年次教育

- まなぶる▶ときわびとⅠ
  - チームビルディング
  - ロジカルシンキング
  - ディベート
  - プレゼンテーション
- まなぶる▶ときわびとⅡ
  - 計画的学修
  - 協働学習



大城 亜水

- まなぶる **コンテンツチーム**
- 教員採用試験対策（公立保幼）
- 教職支援センター委員

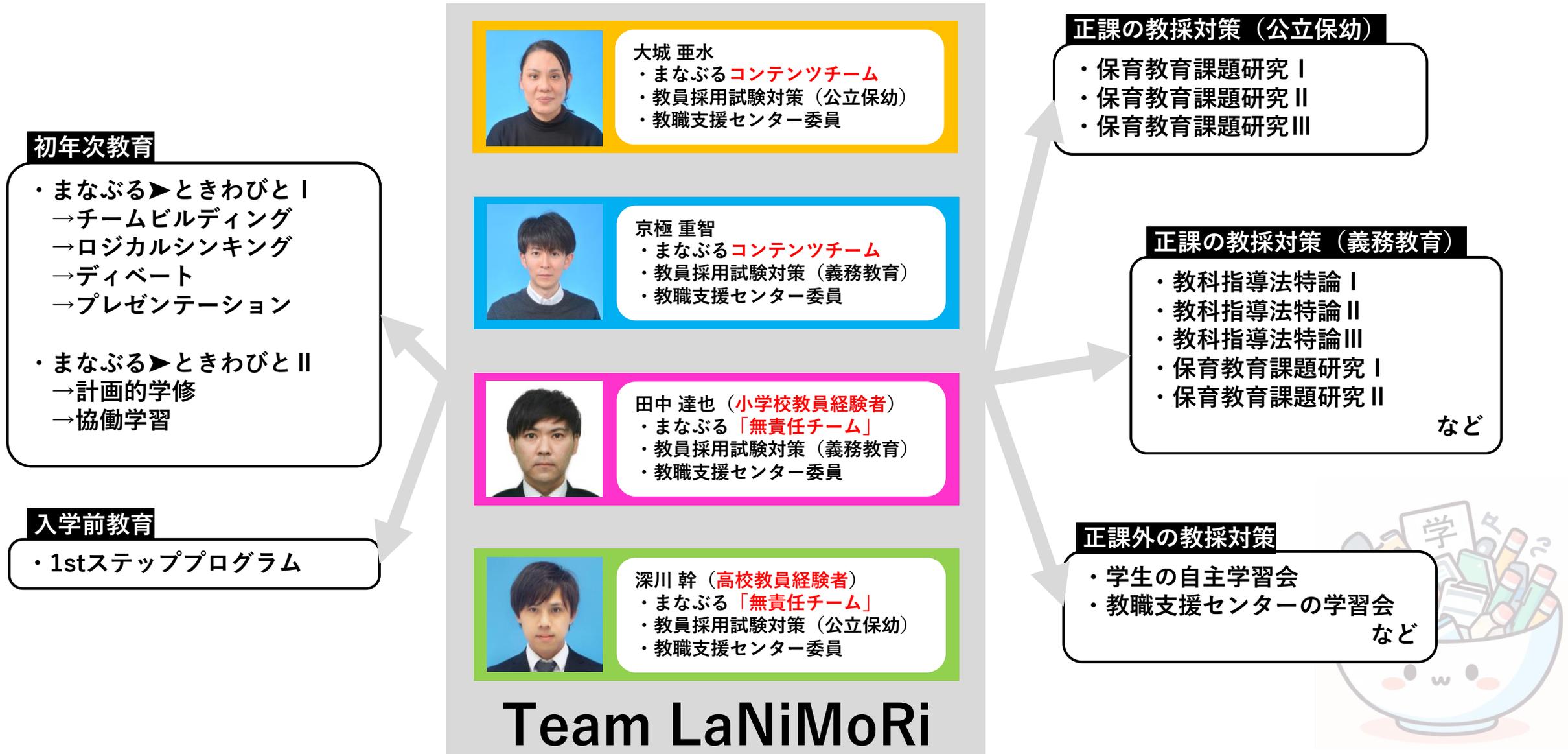


京極 重智

- まなぶる **コンテンツチーム**
- 教員採用試験対策（義務教育）
- 教職支援センター委員



# 4. Team LaNiMoRi 結成の経緯



# 4. コンテンツの大幅アップデート (概要)

令和4年度□まなぶる▶ときわびとI□学修内容一覧

学修内容 (大項目)	開講週	学修内容 (中項目)	学修内容 (小項目)
チーム・ビルディング	1, 2 4, 7	協働する基盤を組み立てる	Organization Development
ロジカル・コミュニケーション	3, 5, 6	書くちからを養う (遠隔授業)	ライティング I ~ III
	8	読むちからを養う	話し合いによる学修
	9	論理的・批判的に考える	ロジカルシンキング クリティカルシンキング
	10	視覚的に考える	ビジュアルシンキング
	11, 12	論理的な議論を実践する	アカデミックディベート I, II
	13, 14	「伝える」を実践する	プレゼンテーション I, II
まとめ	15	振り返り	学びの集大成

令和5年度□まなぶる▶ときわびとI□学修内容一覧 (案)

学修内容 (大項目)	開講週	学修内容 (中項目)	学修内容 (小項目)
チーム・ビルディング	1, 2 4, 7	協働する基盤を組み立てる	Organization Development
ロジカル・コミュニケーション	3, 5, 6	書くちからを養う (遠隔授業)	ライティング I ~ III
	8	読むちからを養う	話し合いによる学修
	9	論理的・批判的・視覚的に考える	ロジカルシンキング クリティカルシンキング ビジュアルシンキング
	10, 11	論理的な議論を実践する	即興型ディベート I, II
	12, 13, 14	「伝える」を実践する	プレゼンテーション I ~ III
まとめ	15	振り返り	学びの集大成

まなぶる▶ときわびとI□学修内容一覧

単元	開講週	学修内容 (中項目)	内容
チーム・ビルディング	1, 2 4, 7	協働する基盤を組み立てる	Organization Development
ロジカル・コミュニケーション (基礎)	3, 5, 6	ライティング I ~ III	文章の基礎
	8	ロジカルシンキング	アーギュメント
	9	クリティカルシンキング	批判的思考
ロジカル・コミュニケーション (応用)	10, 11	ディベート	ディベートによる論理的な議論
	12, 13, 14	プレゼンテーション	テーマに沿った論理的なプレゼン
まとめ	15	振り返り	学びの集大成

👉 今年度実施したコンテンツ



Team LaNiMoRi

👉 コンテンツチーム2名で改善を行ってきたコンテンツ

# 4. コンテンツの大幅アップデート（設計思想）

## 第8週から第14週までの授業間の関連性について←

□第8週から第14週までのすべての授業は、「アークメント」という考え方を柱とし、設計されています。←

□第8週と第9週は、「アークメント」に関する基礎知識を学ぶコンテンツです。具体的には、第8週では、「アークメント」とは何かという内容を扱います。学生が実際にアークメントを自分たちで構成したり、他者のアークメントを、構成要素が充足しているかという観点から評価したりします。第9週では、構成されたアークメントの各要素に対する「ツッコミ」が、すなわち「批判」であるということ学びます。クイズを通して、自身が構成するアークメントの不備を見つけたり、出版物の一部で主張されていることについて、実際に批判を行ったりします。これらの学びは、アカデミックスキルという観点で見れば、学術的な文章を読んだり、書いたりするための基礎知識と言えます。←

□第10週から第14週までは、先ほどの第8週と第9週で学んだ知識をもとに、実際にそれらの知識を活用するコンテンツになります。具体的には、第10週と第11週では、ディベートを題材として、自チームの主張についてアークメントを構成したり、相手チームの主張について批判を行ったり、さらにそれに対する反批判（反駁）をすることで、アークメントに関する基礎知識を実践的に活用します。第12週から第14週までは、プレゼンテーションを題材として、自チームの提案内容についてアークメントを構成したり、そこに不備や問題がないか自己批判したりすることで、アークメントに関する基礎知識を実践的に活用します。これらの学びは、アカデミックスキルという観点で見れば、ゼミでの議論といった学術的な議論を行ったり、学会発表などの学術的な発表を行ったりするための基礎技能と言えます。←

これらの授業間のつながりを意識していただくと、学生に対する教育効果の高まりがより期待できると思います。←



# 5. Team LaNiMoRi で生じたチームビルディング

## ●多角的な自己理解と他者理解の促進

- ・コンテンツ作成以外の場（文脈）においても自他の理解を深めていった

## ●目標の重層的な統合

- ・初年次教育のコンテンツ作成にとどまらない大きな目標の共有
- ・「無責任チーム」という周辺のなかかわり方



Team LaNiMoRi

# 6. 教員間のチームビルディングの促進

## ●授業説明会とチームビルディングワーク

- ・ 授業目的の共有、新規参加教員も主体的に参加できる土壌の醸成

## ●まなぶる事前・事後ふり返し会

- ・ 教員間でもふり返し、分かち合いを行い、全体にフィードバックする

## ●コンテンツの共有体制

- ・ 学内LMS等やクラウドサービスを用いて共有、コメントを可能に



# 6. ふり返し会の様子



Team LaNiMoRi

# 7. 教員間のチームビルディングの成果

## ●ふり返り会の活性化

- ・各教員の抱える課題意識やコンテンツへの評価が可視化された

## ●各学科教員からのコンテンツ提供

- ・本年度オープニングアクト（動画）



## 8. 今後の課題

- コンテンツ作成の主は依然教育学部が担っている
  - ・各学科で求められる資質能力をコンテンツに反映したい
- 学科をこえた繋がりをまなぶる外に広げていきたい
  - ・多様な教員を結びつけるプラットフォームとしての「まなぶる」

